

立命館生協 ヴィーガンに関する取り組み



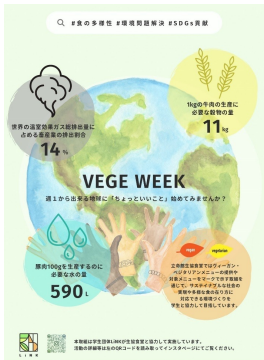
[国際貢献]

取り組み概要

日時：3/14(月)~3/25(金)、5/11(水)、10/31(月)~11/4(金) など多数開催
 場所：立命館生協食堂
 参加者数や組合員の反応：留学生や教職員、女性を中心に良い反応があった。

背景や概要：ヴィーガンやベジタリアンの方々にも利用しやすい食堂になるように、という想いのもとヴィーガンメニューを提供。ヴィーガンに関する活動を行う学生団体LiNKと協力し、継続的な取り組みを行っている。

食を通じて誰でも利用しやすい大学生協に



POINT.1

多様な組合員へ食からアプローチ

立命館生協では、食の多様性を考えるきっかけの一つとして、さらには環境問題や資源問題に食を通じてアプローチできることを知る機会を提供するために、ヴィーガンに関する取り組みが行われていました。

ヴィーガンやベジタリアンの方々が利用しやすい食堂になるということはもちろんですが、そうでない組合員にとっても健康的な食生活につながるような取り組みとなっています。食の多様化に対応し、より多くの組合員に届けることが可能となっています。

POINT.2

学生団体との協力で社会的課題の解決を

この取り組みは、ヴィーガンに関して活動をしている学生団体LiNKとの協力で行われています。大学生協と学生団体LiNKがそれぞれの想いに共感し合ったことで、共同で企画が進みました。

学生団体LiNKの方々をはじめ、環境問題から食のことを考え、ヴィーガンを実施するようになった学生も増えてきている現状もあります。このような取り組みは、食の選択を少し変えるだけで社会的課題に貢献できることを体験してもらう機会となっています。



POINT.3

食堂を舞台にした継続的な取り組み

食堂でのヴィーガンに関する取り組みは、VEGE WEEKやキッチンジャックなどを代表に、多数開催されています。数週間に渡った手軽なヴィーガンメニューの提供や、シェフを招いた1日限定の本格ヴィーガン料理の提供など、様々な形で取り組みが行われています。

食堂という身近な場から継続的アプローチが行われることで、組合員が持続的に社会的課題を考えることが可能となっています。取り組みの中でつながった関わりを長く持ち、活用によって幅が広がっています。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
 ブロック学生事務局 [大前 真悠]
 Omae.Mayu@univ.coop